

2021年度 第363回教育研究審議会議事要録

日時 2021年9月7日(火) 13:30~15:05
場所 遠隔会議 (Teams利用)
出席者 松尾学長、柳井副学長、龍副学長、二宮副学長、中尾副学長、中本事務局長
伊藤外国語学部長、浦野経済学部長、田島文学部長、田村法学部長、内田地域創生学群長、
上江洲国際環境工学部長、廣渡基盤教育センター長、八百社会システム研究科長、
工藤マネジメント研究科長、重松法学研究科長、下野学生部長、狭間入試広報センター長、
浅羽情報総合センター長、中武環境技術研究所長

- 配布資料**
- 1 欠員補充申請書 (外国語学部)
 - 2 特任研究員の選考について (国際環境工学部、環境技術研究所)
 - 3 北九州市立大学 内部質保証の方針の改正について
 - 4 大学機関別認証評価に係る点検評価ポートフォリオ (基準1) の作成について (依頼)
 - 5 2022年度以降のメディア授業科目について
 - 6-1 令和2年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間に関する公立大学法人北九州市立大学評価委員会による評価結果について
 - 6-2 公立大学法人北九州市立大学評価委員会の評価結果 概要
 - 6-3 公立大学法人北九州市立大学の令和2年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間に関する評価結果
 - 7 2020年度早期支援システム実施結果 (北方キャンパス)、早期支援システム (退学勧告制度) 実施報告の概要 (国際環境工学部)
 - 8 市内大学等の連携による新型コロナワクチン「大学拠点接種」のご案内

第1号 教員の人事について

- * 資料1のとおり、外国語学部からの申請に基づき、2021年3月31日付で退職した葉言材准教授の後任として、中国文化、中国語教育担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

第2号 特任研究員の選考について

- * 資料2のとおり、国際環境工学部の特任研究員1名、環境技術研究所の特任研究員1名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

第3号 内部質保証の方針の改正について

- * 資料3のとおり、内部質保証の方針の改正について提案。

- 内部質保証の方針について、「アセスメントプラン」の策定や、IR室を廃止し、教育改革推進室に「教育改革部門」と「教学IR推進部門」を設置したことに伴い、方針等を一部改正するもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

第4号 点検評価ポートフォリオ（基準1）の作成について

* 資料4のとおり、認証評価に係る点検評価ポートフォリオ（基準1）の作成について依頼。

- 2022年度の認証評価受審にあたり、各部局等において点検評価ポートフォリオ（基準1）の作成を依頼するもので、10月15日（金）までに第1次案を提出していただきたい。なお、基準2及び基準3の作成については、次回教育研究審議会（9月21日開催予定）にて依頼予定である。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第5号 2022年度以降のメディア授業科目について

* 資料5のとおり、2022年度以降のメディア授業の実施について提案。

- 2022年度以降の授業基本方針は原則対面授業となるが、アフターコロナを見据え、条件を満たす場合は、申請制でメディア授業の実施を認めるものとする。2022年度にメディア授業の実施を希望する教員は、所定の申請書と計画書を当該科目のホスト部局長に提出し、ホスト部局長が内容を確認のうえ、9月24日（金）までに学術振興課に提出いただきたい。
- 産休明けなど対面授業が難しい場合に、特別な配慮があっても良いのではないか。
- 可能であれば育休をとってほしいが、そのような個別案件は当然想定されるため、その場合は審査の際に個別に判断させていただきたい。今回はあくまで原則の話である。
- 昨年度の経験から、メディア授業に教育効果があることが分かった。一方、教員間でメディア授業のレベルに差があるため、メディア授業が上手な教員の手法をFD研修等で広めたいというのが、今回の方針の趣旨である。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 法人評価委員会の評価結果について
- ② 2020年度早期支援システム実施結果について
- ③ 第49回及び第50回緊急対策本部会議での協議内容について（口頭）
- ④ 市内大学等の連携による新型コロナワクチン「大学拠点接種」のご案内